世界遺産の街
セゴビア

セゴビア

世界遺産の街

カスティーリャ・イ・レオン州、標高1000mを越す高原で広大な空へ向かってそびえるセゴビアの街。おとぎ話から飛び出したような繊細なアルカサルの尖塔と城壁は、まるで緑の中を行く船のようにも見えます。中心部には「大聖堂の貴婦人」と呼ばれるゴシック様式の大聖堂。街を取り巻くように流れるエレスマ川とクラモレス川。喧騒が絶えないマドリッドからほんの100kmしか離れていないセゴビアには、違う時間が流れています。

セゴビアを訪れる人々は、まず水道橋の前で立ちつくしてしまうでしょう。紀元1世紀ローマ人が作り上げた長さ958mの巨大水道橋。ローマ時代から約100年前までフリオ川からのふんだんな水を人々に届けていたこの橋は、いまや巨大なモニュメントとなり、私たちはその優雅さ、2万個の石のひとつひとつが語りかける歴史の迫力にしばし言葉を失います。セゴビア旧市街と水道橋は1985年にユネスコの世界遺産に指定されていますが、この水道橋は世界最大級、最良の保存状態を誇っています。

緑に囲まれ息づく街、セゴビア。スペインの多くの土地がそうであったように、セゴビアもイスラム、ユダヤ、キリスト教文化が共存し、融合しあった街です。旧市街のあちこちには、異文化の足跡がうかがえ、迷路のようなその細い路地には昔とかわらない人々のふれあいがあります。

中世の人々のように時計をもたずに、セゴビアの街を歩いてみませんか。きっとその歴史を肌で感じるはずです。

セゴビア基本情報

所在: カスティーリャ・イ・レオン州 セゴビア県セゴビア市
面積: 163,6 km²
平均標高: 海抜約1000 m
気候: 大陸性気候
平均気温: 冬10℃ 夏20℃
市人口: 57,206人 (2008年2月現在)
市外局番: 92

水道橋 (El Acueducto)

セゴビアの水道橋はローマ人がその広大な帝国の中で築き上げた数々の建造物の中で、最も壮観なもののひとつです。

その建立は紀元後1世紀、フラウィウス朝の時代ネルウァ皇帝またはトラヤヌス皇帝の頃と言われています。当時の建築工学の技術は驚くべき正確さで、この巨大な水道橋を、漆喰をまったく使わずに造りあげました。水が通っていたのは橋の最上部。15世紀に修復されています。水道橋の全長は 958m、高さ28,10m。120本の柱と166のアーチを描く石は 2万個を越えます。この水道橋の水が市内北部のアルカサルにまで届いていたと15世紀の記述にあるように、セゴビアの豊かな水

は市内の各所に配水され、マヨール広場にもその名残を見ることができます。水源は市内南、約14キロm先のプエンテ・アルタ貯水池。実際に19世紀まで使われてたこの橋は、市民に愛されながら20世紀もの間セゴビアの生活を見守ってきました。

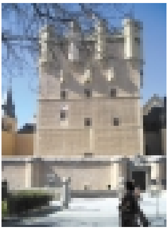
旧市街の玄関にあたるアソゲホ広場に立ち、下から水道橋を眺めれば、その大きさに圧倒されずにはいられません。そして水道橋の脇にあるコンスエロ門（Postigo de consuelo）の階段を上れば、また違った角度から水道橋を楽しむことができます。ここから望める山々を従えたセゴビアの街の景観は絶好の写真スポット。夕日が沈む頃には、広場に雄大な水道橋の影が現れ、訪れる人を幻想的な世界へと誘い込みます。

アルカサル (Alcázar)

セゴビアのアルカサルがディズニーの白雪姫の城のモデルになったというのはあまりにも有名な話。今日ではその姿を「確認」しにやってくるディズニーファンも決して少なくありません。特徴のある城壁と尖塔は、まさにおとぎ話からとびだしたよう。誰もが親近感を抱かずにはいられない美しさです。

市内北部に位置するアルカサルを楽しむにはまず、クラモレス川に沿った散歩道から始めるのがいいでしょう。この散歩道から眺めるアルカサルの空に映える美しい輪郭は、よく緑の中を進む船にたとえられます。境界をエレスマ川とクラモレス川に囲まれたこの小高い地区は、ローマ時代以前から街の要所として重んじられてきました。11世紀、アルフォンソ6世の時代から建造され、改築され続けてきたアルカサルは、フアン2世とエンリケ4世の時代にゴシック様式の外観となり、中世にはカスティーリャ王の住まいとして使われました。19世紀アルフォンソ12世の時代に修復され、現在に至っています。

フアン2世の塔（Torre de Juan II)と呼ばれる、城内で最も高い塔は80m。中は螺旋階段が続き、頂上からの眺めも格別です。最も重要なのは王冠の部屋（Salon del Trono)と呼ばれる城内の核をなすスペース。この部屋に見受けられるムデハル様式※の格天井はセゴビアの豊かな文化融合を示す代表例。多くの人を魅了してやみません。



※キリスト教支配下に存続したイスラム教徒が作り出した両芸術の特徴を融合した様式。

www.alcazardesegovia.com/

公開時間:
4月～9月,10月(金・土) 10:00～19:00
10月(日～木)～3月 10:00～18:00

カテドラル
(Catedral)

スペインの数ある大聖堂の中でもその優雅さから「大聖堂の貴婦人」と呼ばれているセゴビアのカテドラルは、16世紀のスペインで最も名高い建築家ヒル・デ・オンタニョン一族の指揮のもと、1525年に着工しました。

聖堂正面にはその外観と好対照をなす質素な「赦しの門」が。イザベリーノと呼ばれる様式の第一人者でルネサンス期の彫刻家フアン・グアスの手によるビルヘン・マリア像がひっそりと訪問者を受け入れてくれます。北側にはセゴビアの守護聖人である「聖フルトスの門」、南側にはセゴビア最初の司教の名をとった「聖ヘロテオの門」。内部はラテン十字をかたどったゴシック様式で、主祭壇もさることながら、天井の見事な装飾や回廊の繊細なレリーフも見逃せません。そしてことに遠景からの姿が美しいのが88mあるカテドラルの塔。ここには 20世紀半ばまで鐘付き番が生活していました。

イエスは世界の光であったと福音書にあるように、日の出に向かう形で建てられたカテドラル。まさにセゴビア旧市街のハートといえるでしょう。

公開時間: 4月～9月 9:30～18:30 / 10月～3月 9:30～17:30

世界遺産の代表的建造物をまわるルート
10
Calle Daoiz
Calle Velarde
9
8
6
Calle Marqués del Arco
7
マヨール
広場
Plaza Mayor
5
Calle Isabel la Católica
Calle Real
Calle Juan Bravo
Calle Real
4
3
2
Calle Cervantes
Calle Real
1
Plaza del
Azoguejo
ÁVILA
SG-20
N-110
400 m.
N
MADRID
AP-61
N-603
MADRID
CL-601
VALLADOLID
SG-20
CL-601

世界遺産の代表的建造物をまわるルート

旧市街に存在する数々の文化遺跡のなかでも最も重要な建築物をまわるルートです。

① 水道橋　El Acueducto

4 ページ参照

② カサ・デ・ロス・ピコス

Casa de los Picos

15世紀建立。オス一族の所有であった。ダイヤ型の壁面装飾が特徴

③ エル・トレオン・デ・ロソジャ

Torreón de Lozoya

14世紀～16世紀。スペイン最盛期の国王フェリペ2世の秘書、フランシスコ・デ・エラソによって16世紀に修復。ルネサンス様式の中庭。現在はカハ・セゴビア（信用金庫）のギャラリー。

④ サン・マルティン教会

Iglesia de San Martín

12世紀建立。ロマネスク様式。3つの身廊が特徴。塔はムデハル様式（14世紀）。収蔵する彫刻、絵画作品も多い。

⑤ カテドラルとマヨール広場

Catedral y Plaza Mayor

7 ページ参照

⑥ サン・アンドレス教会

Iglesia de San Andrés

12世紀建立。３つの身廊が特徴。16世紀から17世紀の祭壇画を所有。

⑦ カノンヒアス

Canonjías

ダオイス（Calle de Daoiz)通り、ベラルデ（Calle Velarde)通り周辺はかつて聖職者だけが住んでいた地区。地区内には世俗者、女性禁制、聖域として扱われた。水道橋の水はこの下を通ってアルカサルに届いた。

⑧ アルカサル

Alcázar

6 ページ参照

ユダヤ文化をしのぶルート

13世紀の文献にはすでにユダヤ人がセゴビアに居住した記録があります。当時のセゴビアでは、キリスト教徒、回教徒、ユダヤ教徒が共同して土地の管理や裁判といった共通の地域問題にたずさわっていたといいます。
最盛期には五つのシナゴーク（ユダヤ教会）を数え、15世紀に追放されるまで、セゴビアのユダヤ人社会はカスティーリャ王国の中でも最も権力のある集団でした。住んでいたユダヤ人はおおよそ50家族、その構成は裁判官でもあり、カトリック王に会計士として仕えたアブラハム・セネオールのような高級官僚から貧困層まで様々でした。1481年にカトリック王によってユダヤ人の追放が決定すると、この地区は７つの門によって閉鎖されますが（門は現存せず）、国内の他のユダヤ人街で認められる迫害や略奪が、セゴビアでは行われなかったという史実は注目に値するでしょう。シナゴーク（ユダヤ人教会、現コルプス・クリスティ修道院）などを中心に、ユダヤ人の足跡をたどるルート。

① コルプス・クリスティ修道院

Convento del Corpus Christi

旧シナゴーク・マヨール。1410年までユダヤ人教会として使われていた。2004年に修復され、現在はクラサリス修道女会所有。

ユダヤ文化をしのぶルート
1
2
3
4
5
N
400 m.

② カサ・デ・アンドレス・ラグナ

Casa de Andrés Laguna

もとはユダヤ人で裁判官であったアブラハム・センネオールの家。カルロス1世にも仕えた権威ある医師アンドレス・ラグナの所有を経て、現在はユダヤ文化教育センター。

③ サン・アンドレス門

Puerta de San Andrés

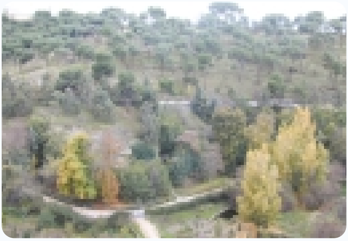
セゴビア城壁インフォメーションオフィス。門に上がることが可能で、頂上からはユダヤ人街をはじめとして中世の町並みが一望できる。

④ セゴビア博物館（カサ・デル・ソル）

Museo de Segovia (Casa del Sol)

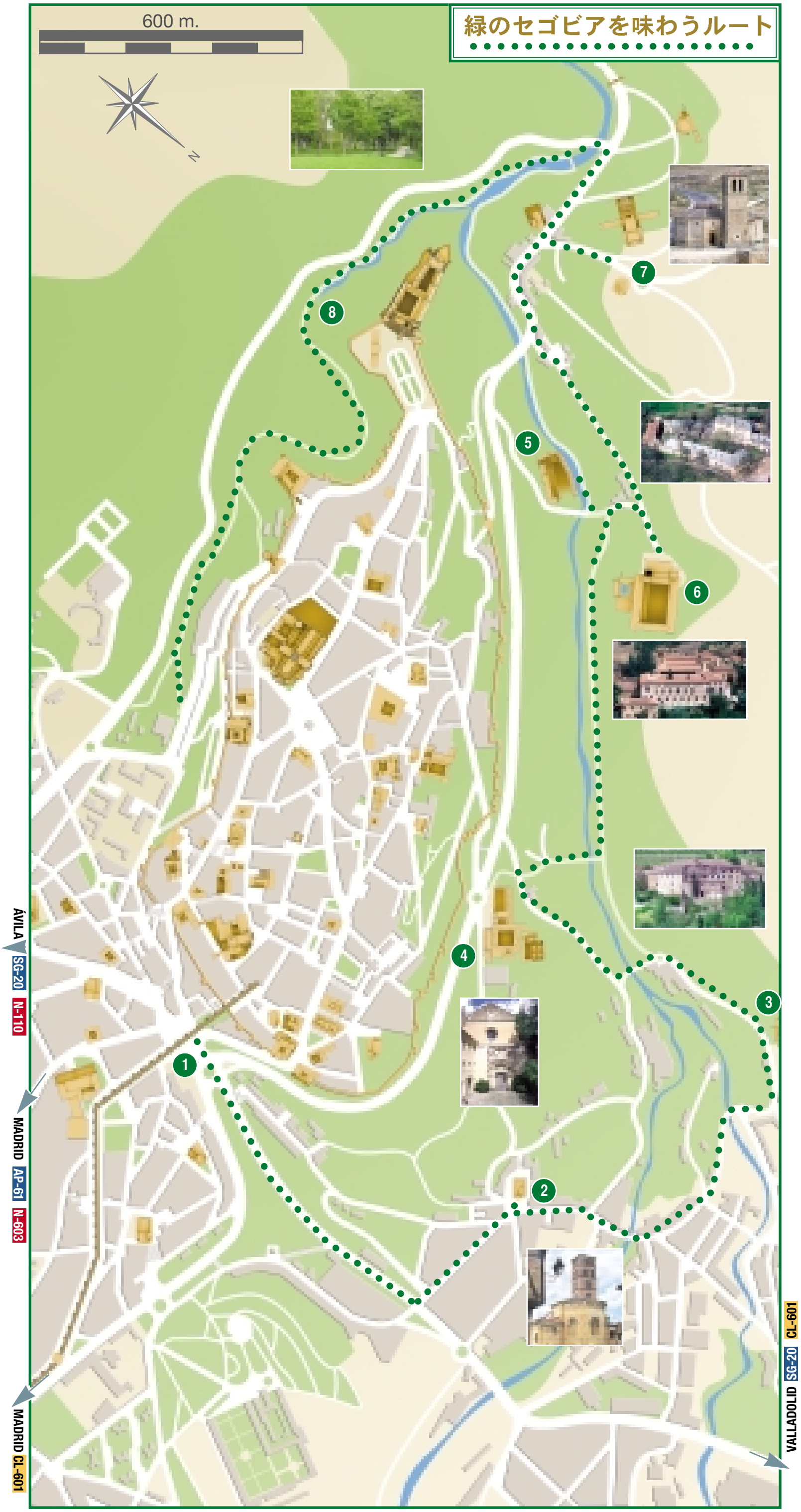
かつてこの場所にユダヤ人用の肉処理場があった。カサ・デル・ソル(Casa del Sol)と呼ばれる城壁に作られた建物を利用した美術館。収蔵作品はローマ時代のモザイク、西ゴート民族の七宝にはじまり、カスティーリャ王国が栄華を極めた15世紀から16世紀頃の領内の絵画作品、デューラーやレンブラントの版画など多岐にわたる。

⑤ ユダヤ人墓地



Cementerio Judío

サン・アンドレス門の南側クエスタ・デ・ロス・オジョス近くに位置する。セゴビアの人々にはピナリージョと呼ばれる。


緑のセゴビアを味わうルート
600 m.
1
2
3
4
5
6
7
8
ÁVILA SG-20 N-110
MADRID AP-61 N-603
MADRID CL-601
VALLADOLID SG-20 CL-601

緑のセゴビアを味わうルート

セゴビアの街を囲むようにして流れるエレスマ川とクラモレス川の周辺には、季節感豊かな散策道があります。緑深いセゴビアを味わうルート

① 水道橋 El Acueducto
4 ページ参照

→ビア・ローマ (Vía Roma) を通って

サン・ロレンソ (San Lorenzo) 地区

② サン・ロレンソ教会

Iglesia de San Lorenzo

12世紀～13世紀。ロマネスク様式。内部にはルネサンス時代の三幅対 (3枚組みの祭壇画)、格天井。教会前の広場に集まるレンガと木、漆喰の住居は中世ならでは。

③ サン・ビセンテ・エル・レアル修道院

Monasterio de San Vicente el Real

12世紀～17世紀、シトー修道会所有

→詩人、アントニオ・マチャドが愛したエル・パラル並木路Alameda del Parralを通って

④ サンタ・クルス・ラ・レアル修道院

Monasterio de Santa Cruz la Real

13世紀～15世紀、ロマネスク様式、ドミニコ会修道院

⑤ 旧貨幣局

Casa de la Moneda

スペインで初めて水力によって機械化された造幣システムを持つ。

⑥ サンタ・マリア・デル・パラル修道院

Monasterio de Santa María del Parral

エンリケ4世の指示により15世紀に建立。多角形の構造。四つの回廊を有する。塔はフアン・カンペロによるプラテレスコ様式。

サン・マルコス地区　Barrio de San Marcos

⑦ ラ・ベラ・クルス教会

Iglesia de la Vera Cruz

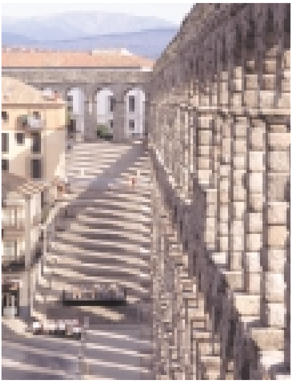
13世紀、サント・セプルクロ騎士団の指揮により建立。12角形の身廊が特徴。エルサレムの聖墳墓教会にインスピレーションを受けている。現在はマルタ騎士団所有。

⑧ クラモレス川流域散歩道

El Valle del Clamores

旧市街の外をゆるやかに流れるクラモレス川の谷に沿った散歩道を散策

水道橋とその周辺ルート



旧市街とその周辺は水道橋によって区切られていました。旧市街の外側南西部サン・ミジャン地区は「魔女の地区」とも呼ばれ、古くにはモーロ人が住み、皮なめしや機織、左官などの仕事に従事していました。水道橋の内（旧市街）を知ってから、いざ、外の世界を知るルート。

① アソゲホ広場 Plaza de Azoguejo

② サン・クレメンテ教会

Iglesia de San Clemente

12世紀～13世紀、一身廊、13世紀の壁画

③ カサ・デ・ティエラ Casa de la Tierra

18世紀半ば、王室付き現場監督ホセ・デ・ラ・カジェの手による。

④ アジャラ・ベルガンサ宮 Palacio de Ayala Berganza

ルネサンス様式、カスティーリャ風邸宅の好例。

⑤ サン・ミジャン教会

Iglesia de San Millán

11世紀～13世紀建立。3つの脇廊を有する。塔は10世紀、モサラベ様式。図像学上興味深い柱頭。丸屋根はハリハ時代（回教徒）のもの。

⑥ サンタ・エウラリア教会 Iglesia de Santa Eulalia

この地区内で最も重要な教会。ロマネスク様式の名残も見える。

水道橋とその周辺ルート

⑦ サン・フランシスコ修道院

Antiguo Convento de San Francisco

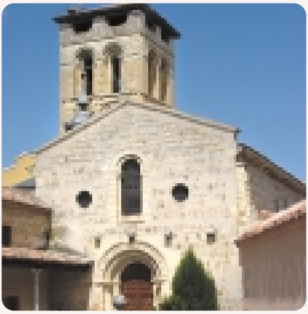
15世紀～19世紀。旧サン・フランシスコ修道院。現在は陸軍砲隊士官学校。

⑧ カサ・デル・セージョ

Casa del Sello

16世紀、王国内で最高級の毛織物を生産していたセゴビア。その品質保証印を発行していた建物。

⑨ ロス・サントス・フスト・イ・パストール教会



Iglesia de los Santos Justo y Pastor

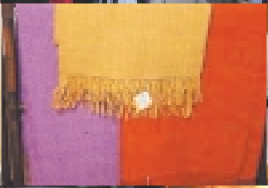
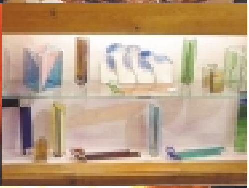
12世紀～13世紀建立。ひとつの身廊、内部北側にはバロック様式の祭壇。12世紀末のロマネスク壁画が見られる。

⑩ エル・サルバドル教会　Iglesia de El Salvador
12世紀～16世紀、バロックの祭壇画所有。

⑪ サン・アントニオ・エル・レアル修道院

Monasterio de San Antonio el Real

15世紀建立。内部にはムデハル様式とフラメンコ様式が顕著。かつてはエンリケ4世が所有したがクラリサス修道女会に属する。

セゴビアで伝統を楽しむ、舌鼓を打つ

かつて「9ヶ月の冬と3ヶ月の地獄」と言われたカスティーリャ・イ・レオン州の厳しい気候の中で生活するセゴビアの人々にとって、祭りは大事な栄養源です。春先のセマナ・サンタ（イースター）は教会や修道院の密集するセゴビアではもっとも重要な祭事のひとつ。期間中、様々なプロセシオン（キリスト像などを担いでの行進）が行われますが、ラ・ベラ・クルス教会付近ではマルタ騎士団やサン・フアン・デ・エルサレム騎士団などが登場し、中世そのものの荘厳さを再現します。

セゴビア独特のユーモア溢れる「サマラマラのアゲダ（Las Aguedas de Zamarramala）」と呼ばれる祭りでは、2月はじめの日曜日、一日だけ村が女性に占領されます。赤と黒の民族衣装に身を包んだ既婚女性たちは村の守護聖人を担いで行進し、男性を象徴する等身大の人形を燃やしてその権力失墜を確かめるのです。この一年の男性たちのふとどきを咎め、村に入ろうとする男性には入場料をとりたてたりも。10世紀も前から続いている祭りで、毎年沢山の女性で賑わいます。

数々の行事の中でも1986年から続いている「人形劇国際フェスティバル（Titirimundi）」はセゴビアの代表的イベント。毎年5月になると世界中から人形使いが集まり、劇場で、狭い路地で人形劇が始まり、旧市街は10日あまりもの間、子供の笑い声に、大人の歓声に包まれてしまいます。

もうひとつのセゴビアの大事な栄養源、それは世界的に有名な子豚の丸焼きです。品質を保証する商標「コチニージョ・デ・セゴビア（Cochinillo de Segovia）」に登録されるのはすべて生後3週間以内の子豚。母乳だけ飲んで育った子豚は2時間以上もかまどに入れて丹念に焼かれます。香ばしくぱりっとした皮と、皿で切り分けられるほど柔らかくジューシーな肉のコントラストが素晴らしい一品。冬は雪が降ることも珍しくないセゴビアでは、煮込み料理もお家芸。フディオネス・デ・グランハ（los judiones de La Granja）と呼ばれる大粒のインゲン豆の煮込みはほかでは味わえないセゴビアの「おふくろの味」です。

お腹がいっぱいになったら、その足でレアル通り※やサン・フランシスコ通りのショッピングはいかがですか？ 15世紀〜17世紀まで牧畜業が栄えたセゴビアには、カスティーリャ王国内で最高級の毛織物を生産していた伝統があります。織物をはじめ、刺繍や金細工、陶器にもセゴビアならではの温かみが。ドミンゴ会の修道女たちが手がける、ルネサンス様式をそのまま踏襲した多色彩のマリア像や美しく装丁された古書なども、セゴビアでしか手に入らない宝ものです。

※Calle Real: イサベル・ラ・カトリカ通り、フアン・ブラボ通り、セルバンテス通りを合わせた通称

車

マドリッドから92km、A-6からAP-61経由でセゴビアへ約1時間。

電車

マドリッド・チャマルティン駅からAVEでセゴビア・ギオマール駅まで所要時間35分。一日20本近く運行され、料金は時間帯、AVEのタイプによって異なります。
レンフェ（国鉄): Tel: 902 24 02 02.　www.renfe.es

マドリッド ・チャマルティン駅 (Estación de Chamartín)
住所: Agustín de Foxá, Madrid
セゴビア・ギオマール駅 (Estación de Guiomar)
住所: Estación de ferrocarril - AVE　Ctra. de Madrid

バス

マドリッド、プリンシペ・ピオバスターミナルから早朝6時半から夜11時まで15分～30分間隔で運行。所要時間約1時間。

マドリッドーセゴビア間
運行バス会社: ラ・セプルベダナ (La Sepulvedana)
セゴビア Tel: (+34) 921 42 77 07 / マドリッド Tel: (+34) 91 530 48 00
www.lasepulvedana.es/SEG2/index.html

マドリッド プリンシペ・ピオバスターミナル (Intercambiador de Príncipe Pío)
住所: Paseo de la Florida, Madrid
セゴビアバスターミナル (Estación de autobuses)
住所: Paseo de Ezequiel González, 12. Tel: (+34) 921 42 77 07.

最寄の空港

マドリッド バラハス空港 (Aeropuerto Madrid-Barajas)
www.aena.es.　Tel: 902 35 35 70 (総合案内)

バジャドリッド ビジャヌブラ空港 (Aeropuerto de Villanubla (Valladolid))
Tel: (+34) 983 25 92 12 / (+34) 983 25 92 16.

セゴビア総合観光案内所 (Centro de Recepción de Visitantes)
住所 Azoguejo, 1. Tel: (+34) 921 46 67 20/21/22/23
営業時間: 無休 10:00 ～ 20:00. (10 月平日 10:00 ～ 19:00.)
www.turismodesegovia.com (日本語HPあり)　info@turismodesegovia.com

カスティーリャ・イ・レオン州観光案内所
(Oficina de Turismo de la Junta de Castilla y León)
住所: Plaza Mayor, s/n. Tel: (+34) 921 46 03 34.　oficinadeturismodesegovia@jcyl.es
営業時間: 無休 9:00 ～ 14:00 / 17:00 ～ 20:00.

AVE セゴビア駅 観光案内所 (Punto de Información Turística del AVE）
Camino de la ermita de Juarrillos, s/n. Tel: (+34) 921 44 72 62.
información.ave@turismodesegovia.com　営業時間: 無休 9:00 ～20:00.

セゴビアバスターミナル 観光案内所
(Punto de Información Turística de la Estación de Autobuses）
Plaza Estación de Autobuses o Ezequiel González, 3　Tel: (+34) 609 87 74 04
営業時間: 火曜 ～日曜 10:00 ～ 17:30.

市内バス (Autobuses urbanos）
住所: Centro Comercial Almuzara. Juan Bravo. Tel: (+34) 921 46 27 27

セゴビア観光バス (Bus turístico) (日本語音声案内あり)
www.urbanosdesegovia.com

無線タクシー（Radio Taxi）Tel: (+34) 921 44 50 00

セゴビア観光案内所　www.turismodesegovia.com
予約センター　www.reservasdesegovia.com
セゴビアコンベンションビューロー　www.segoviacongresos.com
セゴビアフィルムオフィス　www.segoviafilmoffice.com
スペイン ユダヤ人街インフォメーション　www.redjuderias.org
スペイン世界遺産　www.ciudadespatrimonio.org
アルカサル　www.alcazardesegovia.com/
ドン・フアン・デ・ボルボン財団　www.fundaciondonjuandeborbon.org
セゴビア美術館 / スロアガ美術館　museo.segovia@jcyl.es
ロデラ・ロブレス美術館　www.rodera-robles.org
エステバン・ビセンテ現代美術館　www.museoestebanvicente.es/
サン・キルセ歴史美術王立アカデミ　www.academiadesanquirce.org/
サント・ドミンゴ・エル・レアル修道院
www.dominicos.org/monjas/MONASTERIOS/SEGOVIA/SEGOVIA.HTM
サンタ・マリア・デル・パラル修道院 www3.planalfa.es/msmparral/parral.htm
セゴビア貨幣局財団　www.segoviamint.org/
サン・イルドフォンソ宮　www.patrimonionacional.es/granja/granja.htm
リオ・フリオ宮　www.patrimonionacional.es/riofrio/riofrio.htm
国立財団ガラスセンター　www.fcnv.es/index.html

セゴビア観光案内所

(Centro de Recepción de Visitantes)

住所: Azoguejo, 1. Tel: (+34) 921 46 67 20/21/22/23

営業時間: 無休, 10:00 ～ 20:00.

www.turismodesegovia.com   **info@turismodesegovia.com**